

入会 3 年未満会員懇親山行：妙義山中間道

【山行日】 2019年11月2日（土）

【交通・費用】 チャーターバス利用：6,000円（温泉入浴料 520円含む）

【参加者】

CL：Y SL：O

入会 3 年未満会員 9 名＋ベテラン会員 10 名 合計 19 名

【コース】

バス移動：野木町役場～佐野藤岡 IC～松井田妙技 IC～道の駅妙義 P

歩行：妙義神社登山口～第一見晴～第二見晴～四阿～石門広場～中之嶽神社
～バスで移動後「妙義温泉もみじの湯」入浴

妙義山中間道は一昨年 2 月に落石と崩落に見舞われしばらく通行止めとなっていました、本年 3 月に修復が完了し全面開通となりました。修復に 2 年も掛かるなんてどれだけ重大事だったのか？今回訪れて「第 2 見晴～タルワキ沢入口」区間の修復工事がかなり大規模であったことが分かりました。真新しい頑丈な階段を目の当たりにして今回初めて妙義山に行った方も驚いていたようです。秋晴れに恵まれた山行は下山後の温泉入浴含め快適でした。（記：CL）

今回の企画、3 年未満山行としては大成功だと思います。今年入会された方々とも交流させて頂きこの方々と長く山歩きをご一緒させて頂けたら幸いと思いました。今年は秋の進みが少し遅いのか上品な淡い紅葉で、久しぶりの晴れに恵まれそびえ立つ岩峰に映える青空が眩しく見事な景色でした。

しかしその一方 1 週間前にボランティアさせていただいた方の肩を落とされていた様子を思い出し、以前のように山を楽しめていない気持ちもあったことは事実です。しばらくは、微力ながら少しでも時間が許せば被災された方々のもとで一緒に汗を流させて頂きたいと、今回の妙義山三年未満山行が幸せに満ちていたからこそその思いが強くなりました。（記：M）



第 2 見晴で記念写真

10月は関東甲信で平年の3倍の降雨量、とにかく毎日のような雨。ところが11月2日はそれまでの鬱陶しさを吹き飛ばす秋晴れに恵まれました。初めての山行ということで、楽しみにしながら、一方では体力、メンバー、服装、また、同行する方に迷惑をかけるか、そんなことを考えながら、参加させていただきました。

登っていて感じたことは、この山想会はそれぞれの方が独特な個性を持ちながらも全体として、まとまりお互いを尊重し、活かしあっていると思えました。全体行動を取りながら、上り下りでやや苦戦しているメンバーにはすかさずフォローが入り、ゆったりとした気持ちで苦戦から抜け出るまで待つ。時間的なロスが生じたときには、すかさず休憩場所の変更も辞さず。ラグビーワールドカップになぞらえれば「ミスは起こる」「ミスは責めない」「仲間が全力でフォローする」「ミスを責めず、フォローしない事を責める」まさに今回の山行で散見され、学んだことでした。素晴らしい計画をしていただき、初心者の私達をフォローしていただき感謝感激でした。また、山行の後の温泉の気持ちよさも知ることができました。この山行を企画し、ご同行いただいた方に深く感謝いたします。ありがとうございました。（記：S）



四阿周辺で昼食後の出発

11月2日の親睦山行は天気にも恵まれ大変楽しい山行となりました。私の今までの山行の中でも一番の天気だと思います。山想会に入って2年半が経ち自分が今後山想会とどのように関わっていくか考えていた時期の山行でした。



石門広場から臨む第4石門

研修部の皆さんやCL・SLの方々の活躍等を山行中に感じ自分が今後山想会とどのように関わっていこうか考える良い機会となりました。バスによる山行のリーダーの大変さやチーム編成の組み方、初心者の扱い方・気配り等を肌で感じました。今後あと何年できるかわかりませんが、3年目というこの機会を無駄にせず頑張っていこうと思います。今後とも宜しくお願いします。（記：N）

友人と2人で41年前、梅雨明け前の7月に小雨の中、歩いている。その60年前(1912年8月7日)に根本清蔵が熟練と択一した能力で、ウォルターウェストンを大砲岩、鏡岩等に案内している。その時、ウェストンの新しい55フィートの絹のロープを使用。〔日本アルプス登攀日記：Wウェストン著〕

例年に比べて、やや遅い紅葉であったが、雲一つない快晴で、日差しが心地よく、妙義神社から見上げる峰は中ほどまで紅葉が降りていた。岩峰の妙義、温泉、早めの帰路、バスハイクを堪能させていただきました。(記：N)

天候不順が続き甚大なる災害をもたらす台風等が次々と起こり、山想会においてもいくつかの計画が中止されるなか楽しみにしておりました「妙義山三年未満会員親睦山行」はとても良い天候に恵まれ、多くの先輩の皆様のおかげで無事走破することができました。やや早い紅葉でしたが林立している奇岩怪石を間近に見られ、春の桜咲く季節の山行もいいものかな?と思いつつ山を後にしました。(記：F)

この度は大変お世話になりました。歩き方がゆっくり過ぎてみなさまを疲れさせてしまったのではないかと心配しております、すみません。足の置き方やストックの使い方などとても勉強になりました。

山行後、すてきな写真を頂きました。下ばかり見ておりましたので、こんなに美しい景色の中にいたのだわとあらためて連れて行っていただいたことに感謝いたしました。わが班のリーダーにはまさに手取り足取り、時には踏み台となりながらの山行、感謝しかありません。ほんとうにありがとうございました。少しずつでも普通に歩けるようになりたいと思っております。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。(記：H)

